

令和4年度12月補正予算案について

「国の総合経済対策」に対応し、社会基盤の整備などを前倒して実施

○国土強靱化対策（公共事業の増額）

○令和4年8月大雨災害への対応

○物価高騰・円安への対応

○安全安心の確保・少子化対策

○新型コロナウイルス感染症対策

○人事委員会勧告等を踏まえた職員給与費の増額

12月補正予算としては過去最大

一般会計の12月補正予算の規模 332億円

この結果、一般会計の予算現計 5,946億円（対前年度比 2.6%減）

1 国土強靱化対策（公共事業の増額）

防災・減災、国土強靱化対策（258億9,300万円）【主要事業P1】

- 道路の防災対策・補修、河川の改修 等
- 漁港、治山、農業用施設の整備改修 等



一般県道大谷杉津線（しおかぜライン）
（落石防護柵工 1億400万円）



たすきたにがわ
綿櫛谷川（敦賀市鳩原）
（通常砂防事業（砂防堰堤）1億1,600万円）



排水機場（福井市大安寺）
（農村災害対策整備事業 3億5,000万円）

2 令和4年8月大雨災害への対応

土木施設の災害復旧事業(27億円)【主要事業P2】

- 一級河川 ^{かひるがわ} 鹿蒜川

災害復旧事業

輪中堤の整備 等 15億円

公共事業(補助事業 県単事業)

砂防設備の整備 等 12億円



3 物価高騰・円安への対応

交通事業者・医療機関等への緊急支援事業（10億500万円）【主要事業P2】

- 原油価格高騰の影響により、経営に大きな影響が生じている地域公共交通機関、医療機関、学校等の電気料金、燃料価格高騰分を支援

海外市場への売込み強化事業（7億3,500万円）【主要事業P3】

- 農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、加工食品等の輸出拡大に必要なHACCP等対応の施設や機器の整備等を支援（補助率 1 / 2）



【HACCP等対応施設の機器の整備（イメージ）】

新型コロナウイルス感染症伴走支援資金の制度改革（既決予算対応）【主要事業P3】

- コロナ関連資金の借換需要に加え、新たな資金需要にも対応するため、制度改革により融資対象要件を緩和することにより、中小企業者の資金繰りを支援

制度改革前

資金名	新型コロナウイルス感染症 伴走支援資金
対象要件	売上高が前年同期比 15%以上減少
融資限度額	1億円
保証料補給	全額補給
資金使途	運転 設備 借換



制度改革後

資金名	新型コロナウイルス感染症・ 物価高騰伴走支援資金
対象要件	売上高または利益率が 前年同期比 <u>5%以上減少</u>
融資限度額	1億円
保証料補給	全額補給
資金使途	運転 設備 借換

4 安全安心の確保・少子化対策

定置網急潮被害緊急対策事業（1億4,800万円）【主要事業P4】

- 急潮により被害を受けた定置網の復旧を支援（補助率1 / 3）、漁業者へ迅速に情報提供を行う急潮観測用リアルタイムブイを整備

送迎車両安全装置設置支援および設置事業（4,900万円）【主要事業P4】

- 私立幼稚園、小中学校等の送迎車両への安全装置設置に係る経費を支援



【送迎用バスイメージ】



【安全装置（警報ブザー）イメージ】

出産・子育て応援事業（7億6,100万円）【主要事業P4】

- 妊娠期から出産後にかけて伴走型の相談支援、および10万円相当（妊娠届出時および出産・産後に各5万円）の経済的支援を実施

5 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナ・インフル同時流行対策事業（4,600万円）【主要事業P5】

- 新型コロナおよび季節性インフルエンザの同時流行に備え、年末年始に診療を実施する医療機関に対して支援
支給額：5万円（診療実績に応じて最大10万円加算）